

<金標準、サプライズの雇用統計と地政学的なリスク・・・>



(出所：オアシス)

労働省統計局が発表した雇用統計では、非農業部門雇用者数が事前予想を下回る 7.3 万人増となり、失業率も 4.2%へ上昇している。特に前月の非農業部門雇用者数 14.7 万人増を 1.4 万人増へ下方修正を行い、3 ヶ月遡る増加分の平均はわずか 3.5 万人増となるなど、サプライズな数字を示している。特にトランプ大統領は雇用統計の数字を受けエリカ・マッケンターファー労働統計局局長を解任する様に指示している。そのため 9 月の FOMC における利下げ確率が 40%から 90%へ上昇するなど、金利低下とドル安を強めている。またメドベージェフ元ロシア大統領の挑発にトランプ大統領は「2 隻の原潜を適切な地域に配備するよう命じた」と発言するなど地政学的なリスクの高まりも見せている。そのため NY 金は雇用統計を受け一時 3416.9 ドルをまで反発を示すも、金標準先物は 150 円から一転して 147 円までの円高を受け、16035 円で下げ渋るなど 16000 円の抵抗を続けているが、更なるトランプ大統領の利下げ発言が予想される事から円高に抑えられた値動きに思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げ渋り、シグナルは下げている。RCI は短期が上昇しながら、長期が切り下げている。特に日足が 10 日移動平均線を下回り、40 日移動平均線 (15832 円) に向けた下値模索の値動きに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,880,000 円(2025 年 8 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいと、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復 87,120 円(2025 年 8 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>